

## 海水核種分析結果 < 沿岸 >

参考値

( データ集約 : 3/19 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)	福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)					
試料採取日時刻	平成24年3月18日 8時40分	平成24年3月18日 8時20分	平成24年3月18日 8時25分	平成24年3月18日 8時05分	炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )		試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-		ND	-	ND	-
Cs-134 (約2年)	2.3	0.04	1.1	0.02	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	3.3	0.04	1.9	0.02	ND	-	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.69Bq/L、Cs-134が約0.87Bq/L、Cs-137が約0.97Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海水核種分析結果 < 沖合 >

参考値

(データ集約 : 3/19)

採取場所	原町区沖合3km 上層		原町区沖合3km 下層		小高区沖合3km 上層		小高区沖合3km 下層		岩沢海岸沖合3km 上層		岩沢海岸沖合3km 下層		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年3月17日 9時40分		平成24年3月17日 9時40分		平成24年3月17日 9時25分		平成24年3月17日 9時25分		平成24年3月17日 7時40分		平成24年3月17日 7時40分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	90

採取場所	小高区沖合8km 上層		小高区沖合8km 下層		岩沢海岸沖合8km 上層		岩沢海岸沖合8km 下層						炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年3月17日 9時10分		平成24年3月17日 9時10分		平成24年3月17日 8時00分		平成24年3月17日 8時00分						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-					40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-					60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-					90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.71Bq/L、Cs-134が約0.90Bq/L、Cs-137が約1.1Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 海水核種分析結果 < 沿岸及び沖合 >

(データ集約 : 3/19)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)		福島第一 敷地沖合15km 上層		福島第二 敷地沖合15km 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成24年2月13日		平成24年2月13日		平成24年2月13日		平成24年2月15日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	1.5	0.03	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	1.1	0.01	1.5	0.02	ND	-	ND	-	90
H-3 (約12年)	ND	-	5.1	0.00	ND	-	ND	-	60,000
全	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	-
全	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	-
Sr-89 (約51日)	ND	-	0.15	0.00	ND	-	ND	-	300
Sr-90 (約29年)	0.18	0.01	0.77	0.03	ND	-	0.014	0.00	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、2月14日, 2月15日, 2月17日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約0.77Bq/L, Cs-134が約0.88Bq/L, Cs-137が約1.0Bq/L, H-3が約2.7Bq/L, 全 が約3.5Bq/L, 全 が約21Bq/L, Sr-89が約0.04Bq/L, Sr-90が約0.01Bq/L。

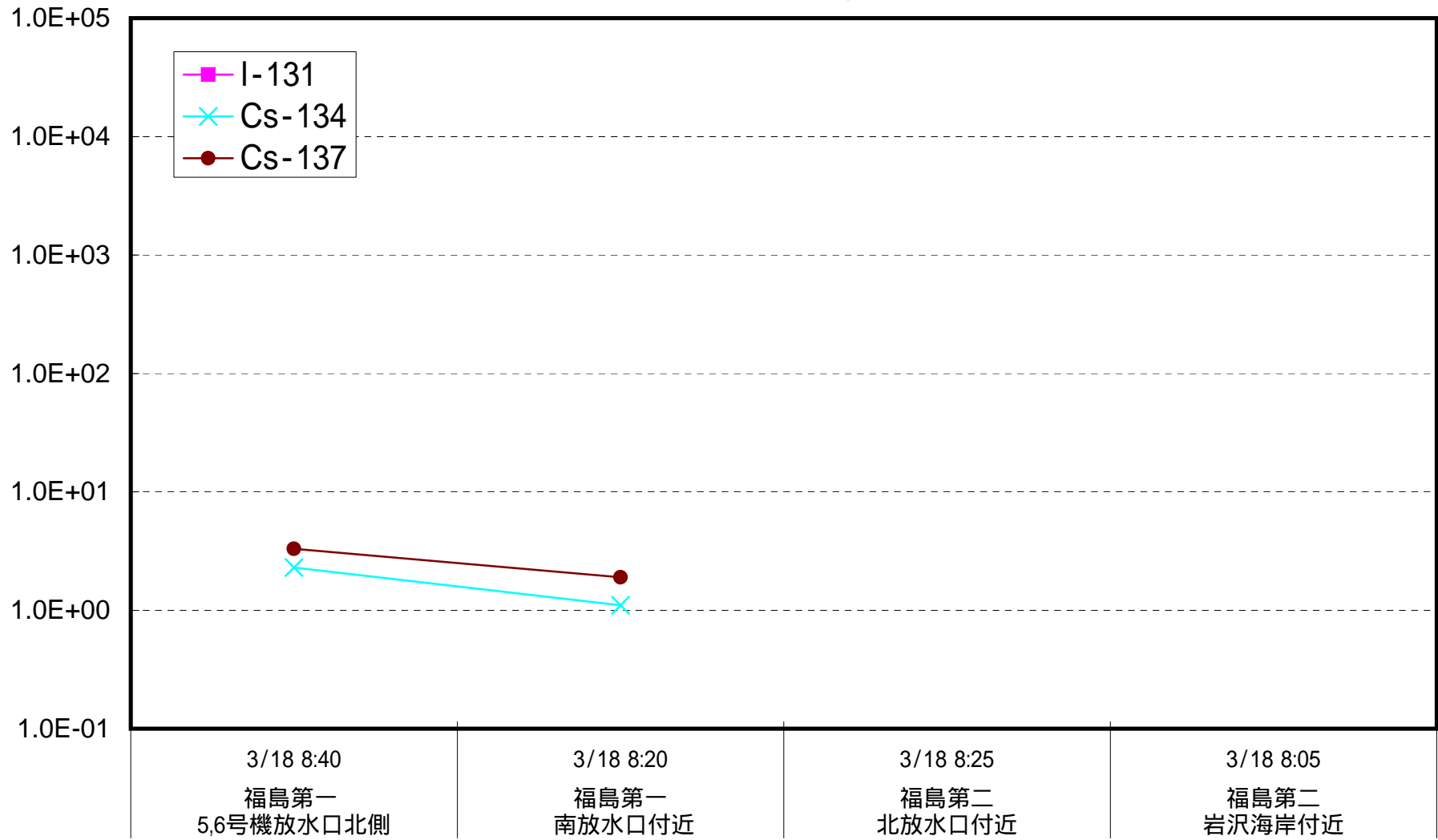
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89, Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

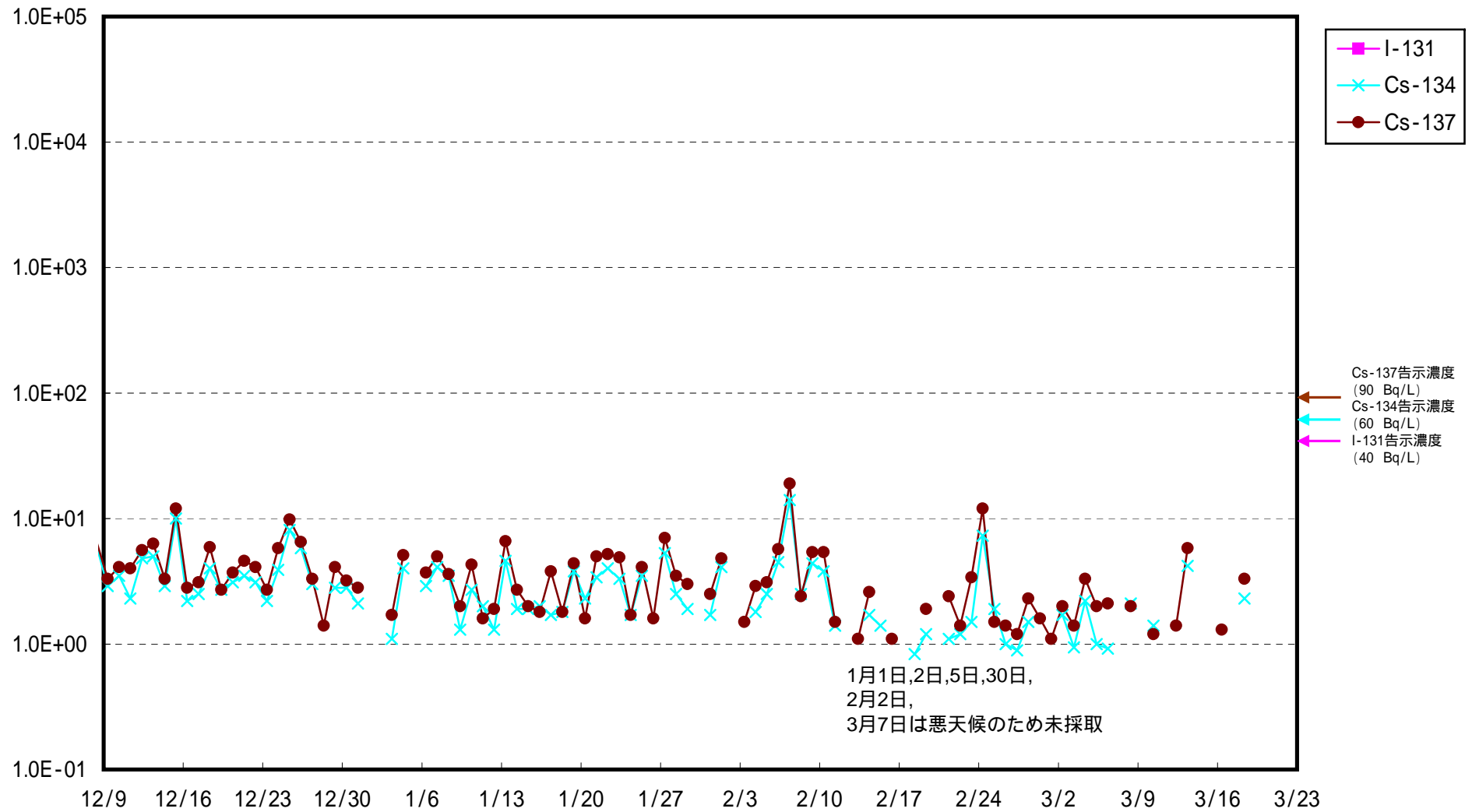
(評価)

H-3, Sr-89, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3, Sr-89, Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

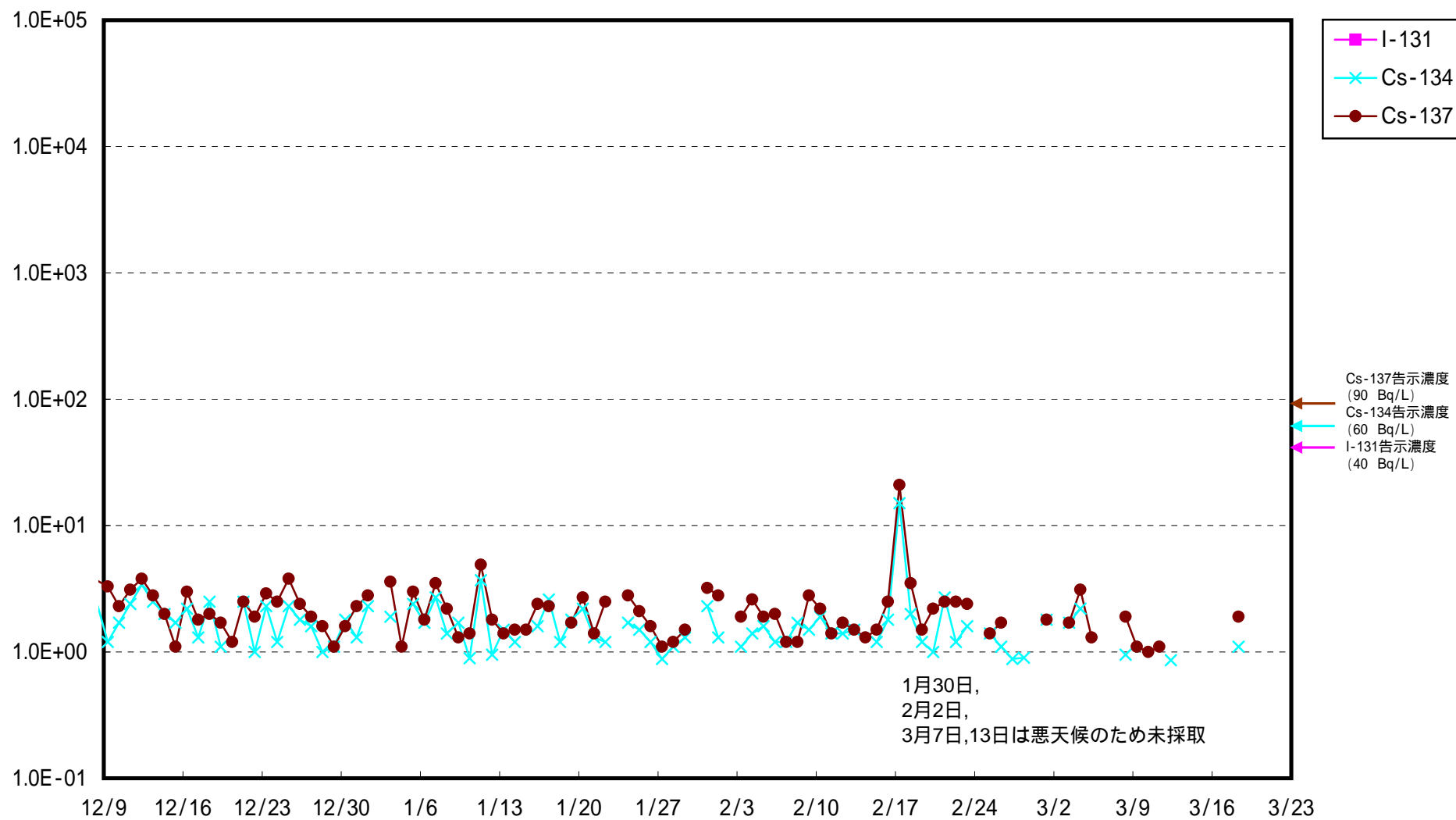
# 海水放射能濃度 (Bq / L)



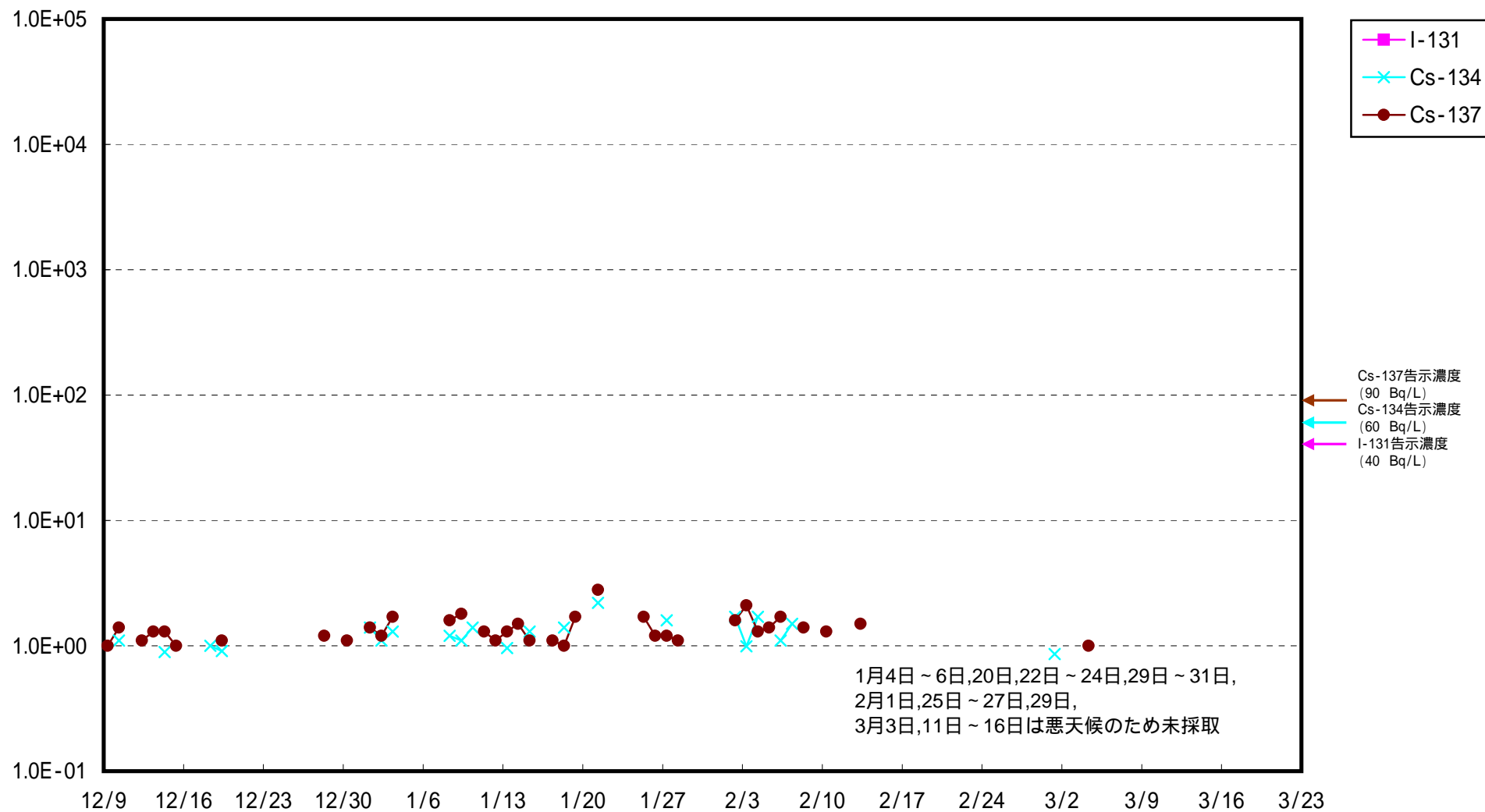
福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



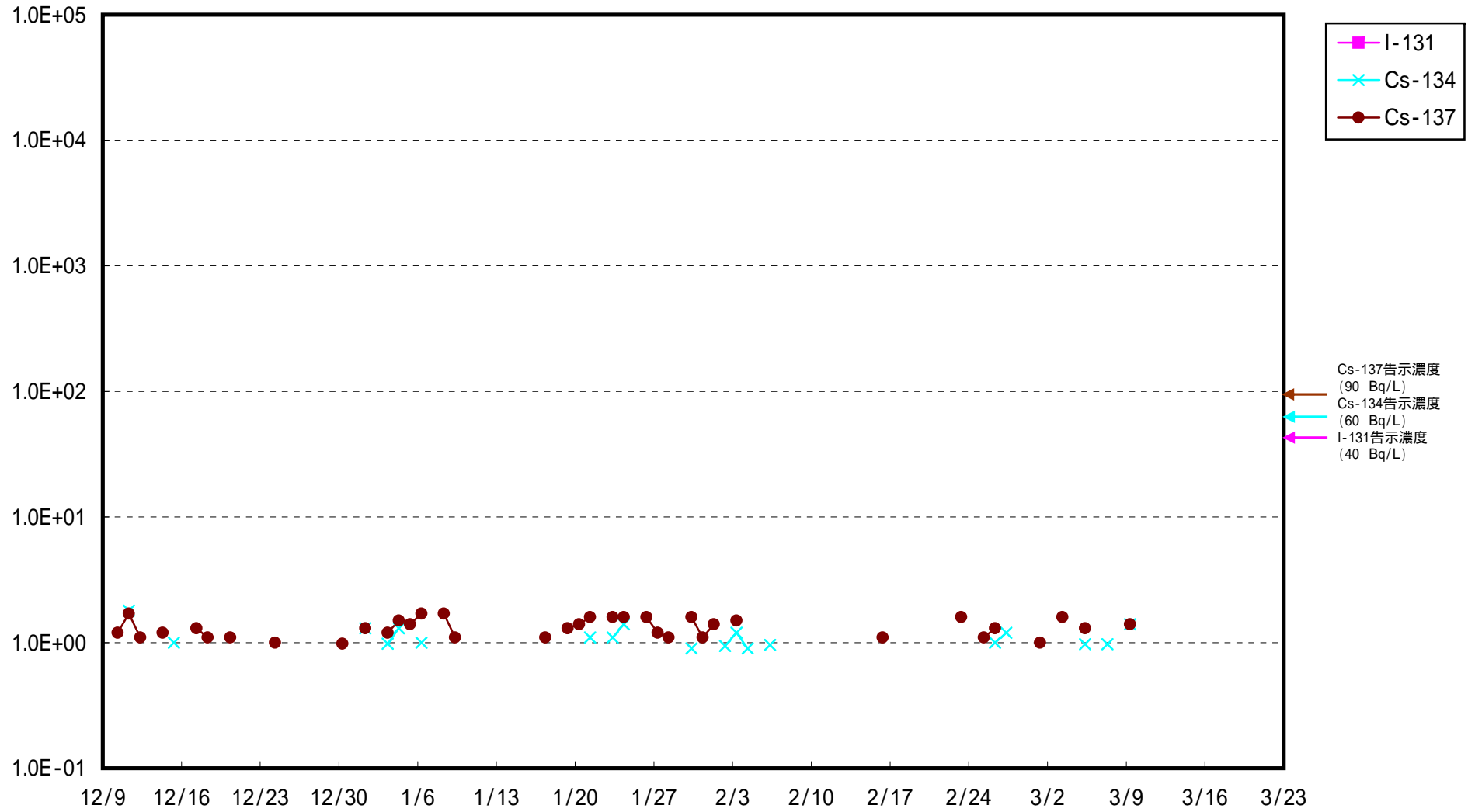
福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 北放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

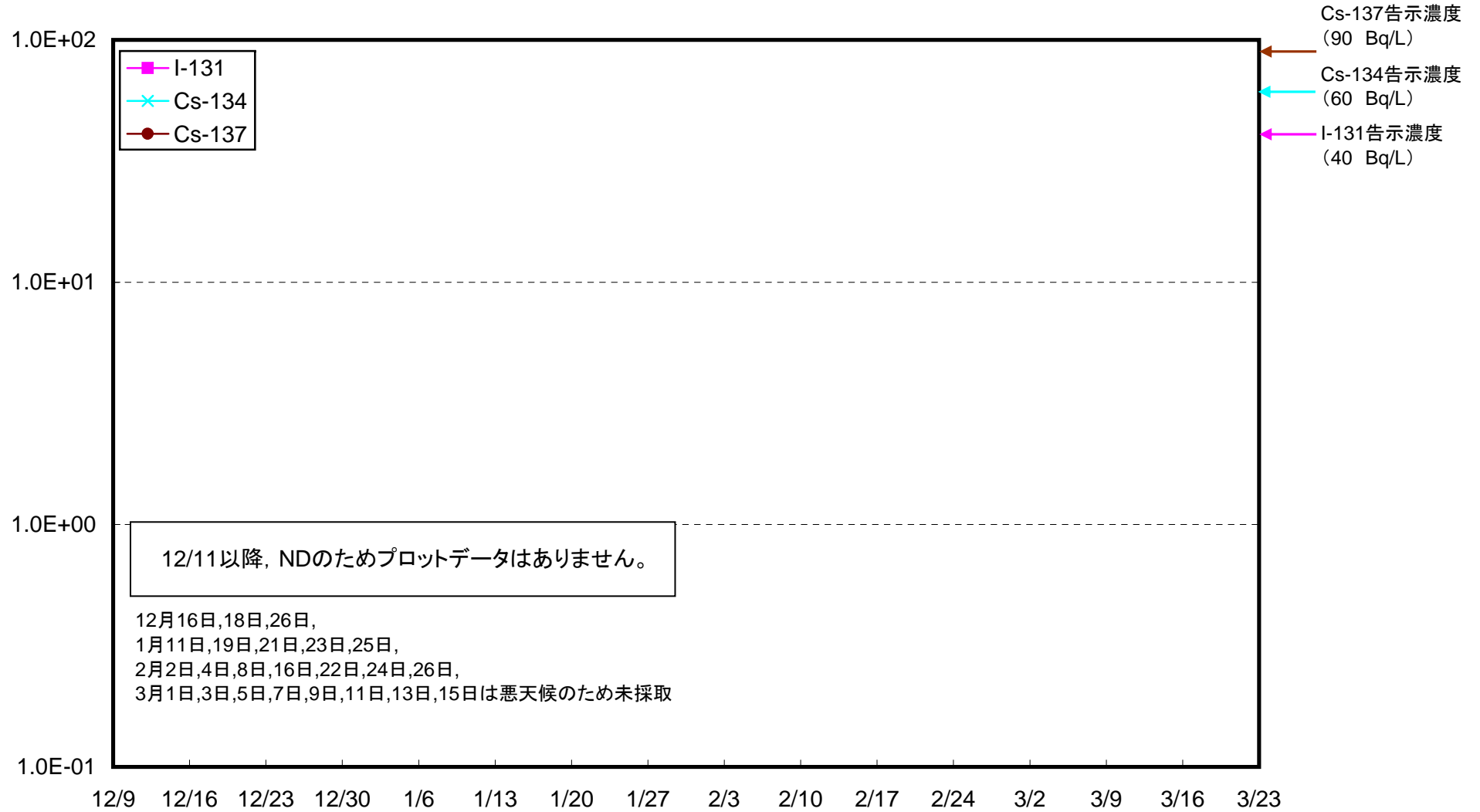


福島第二 岩沢海岸付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

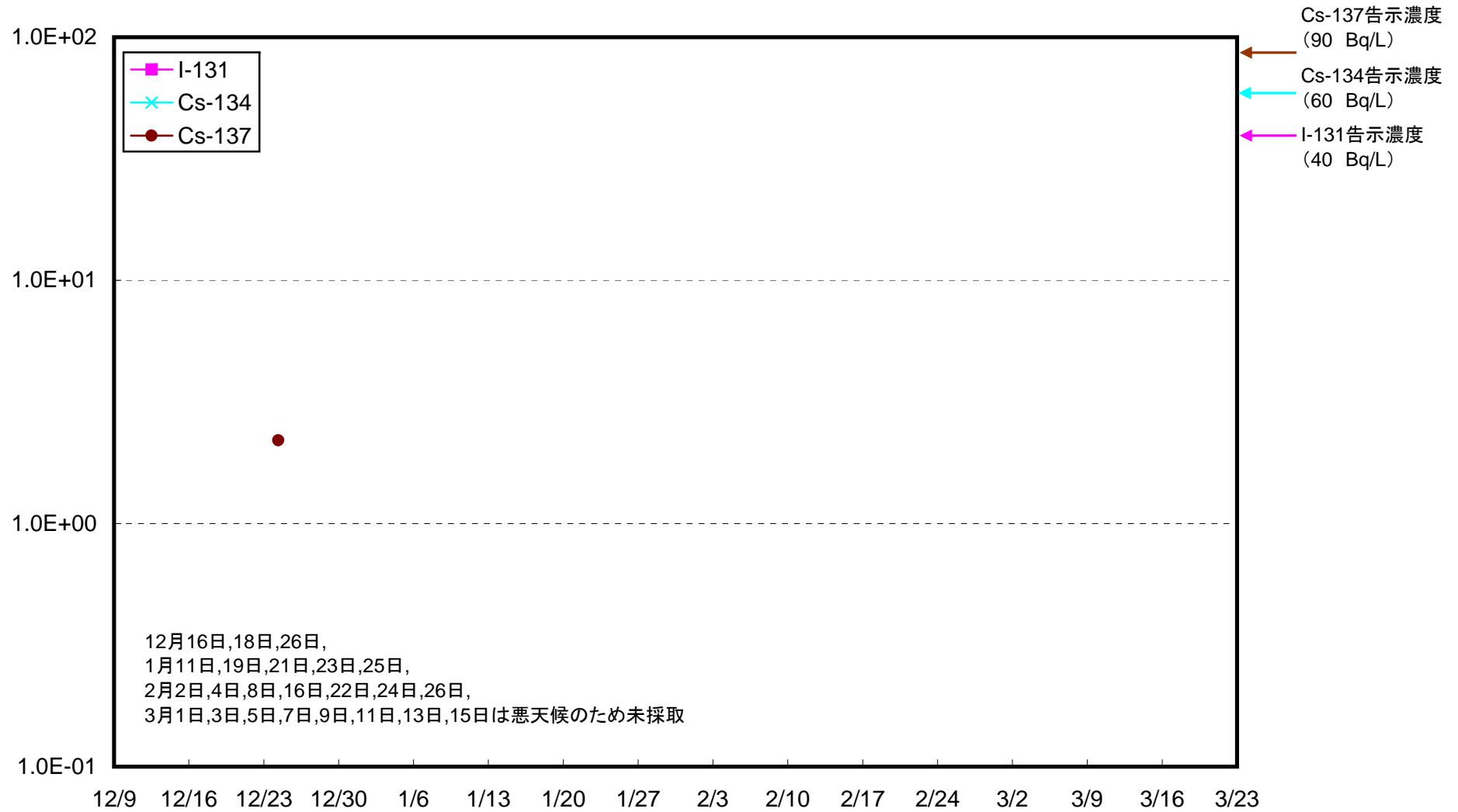




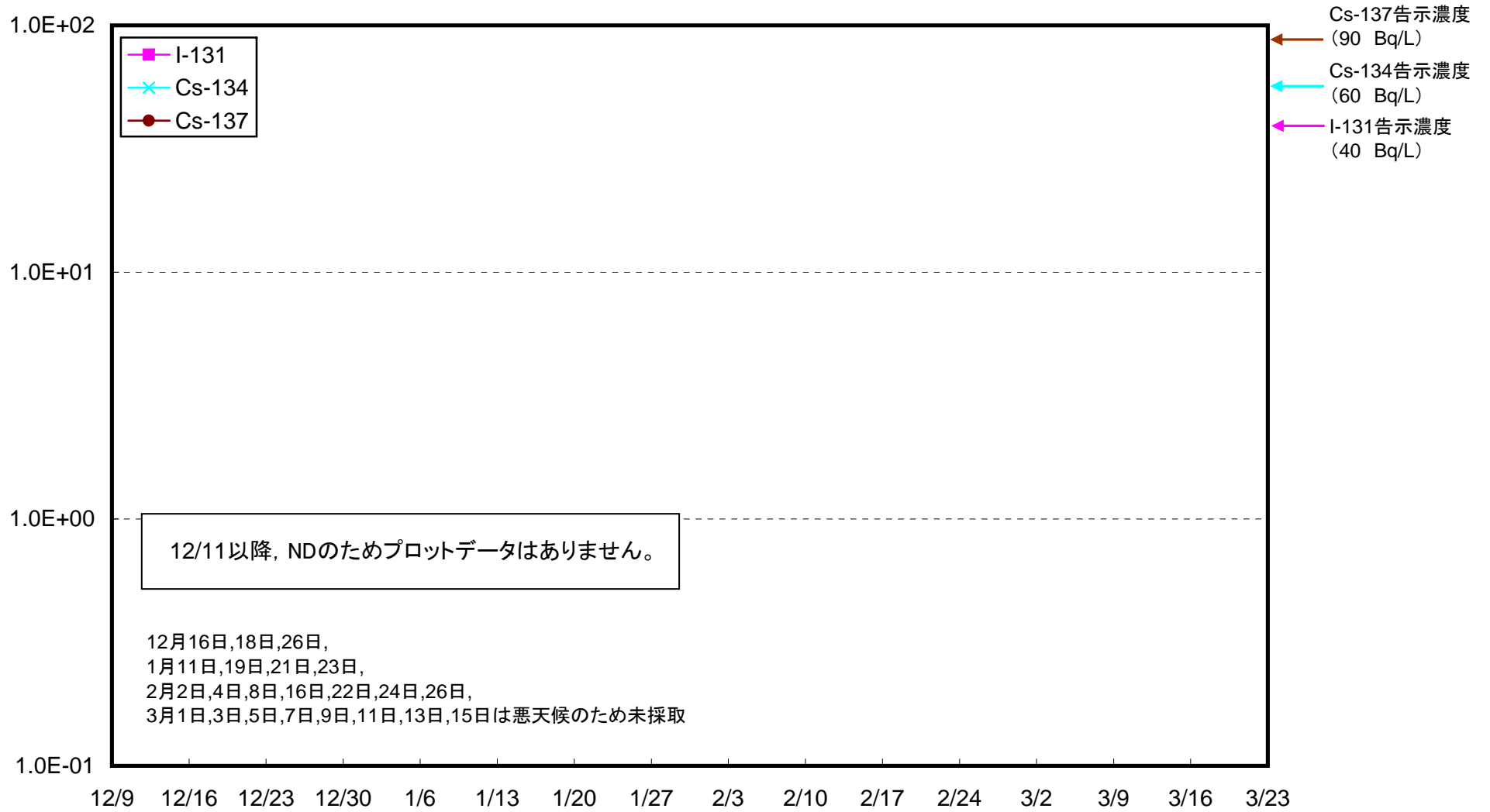
原町区沖合3km 上層 海水放射能濃度 (Bq/L)



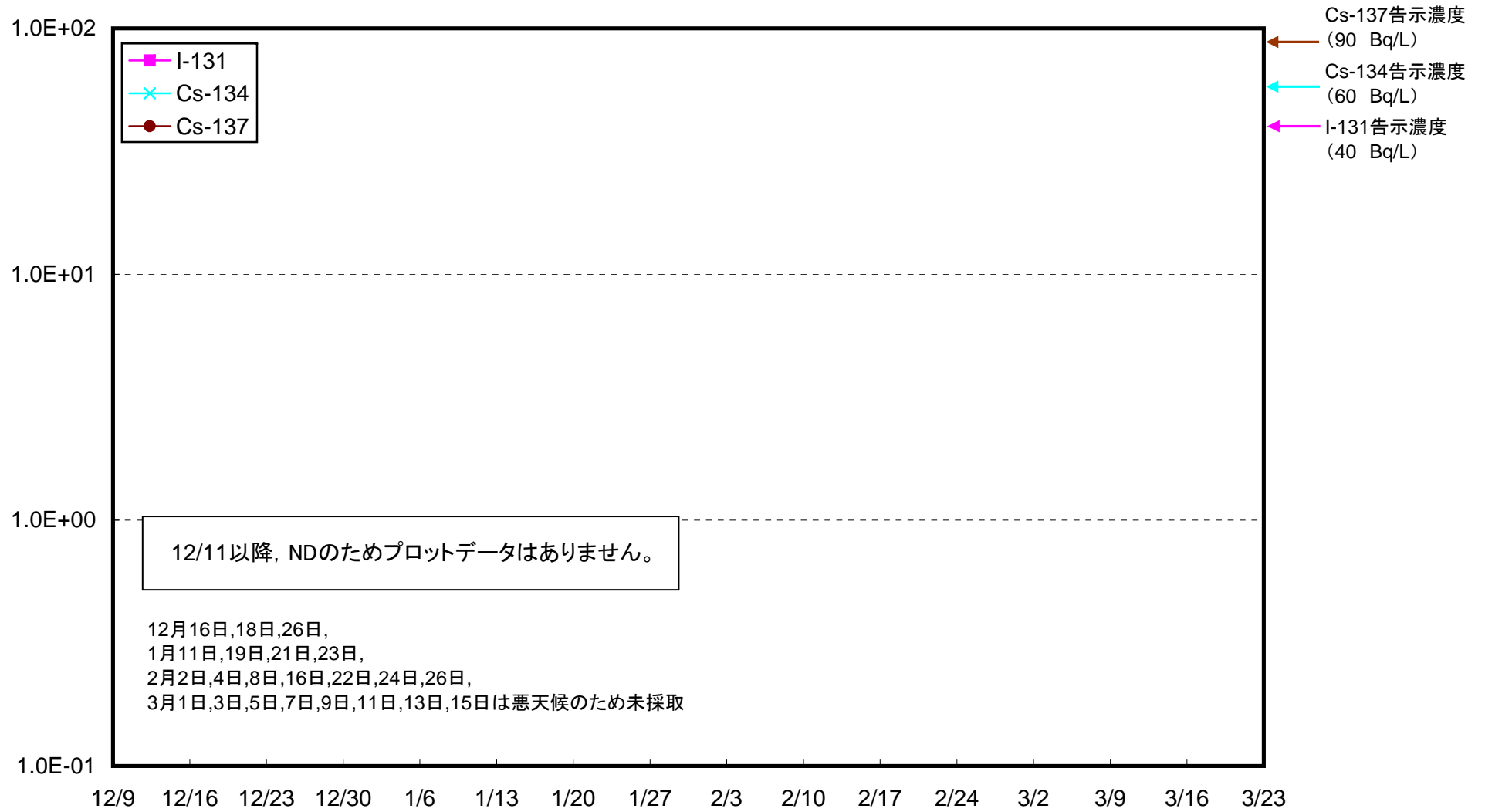
原町区沖合3km 下層 海水放射能濃度(Bq/L)



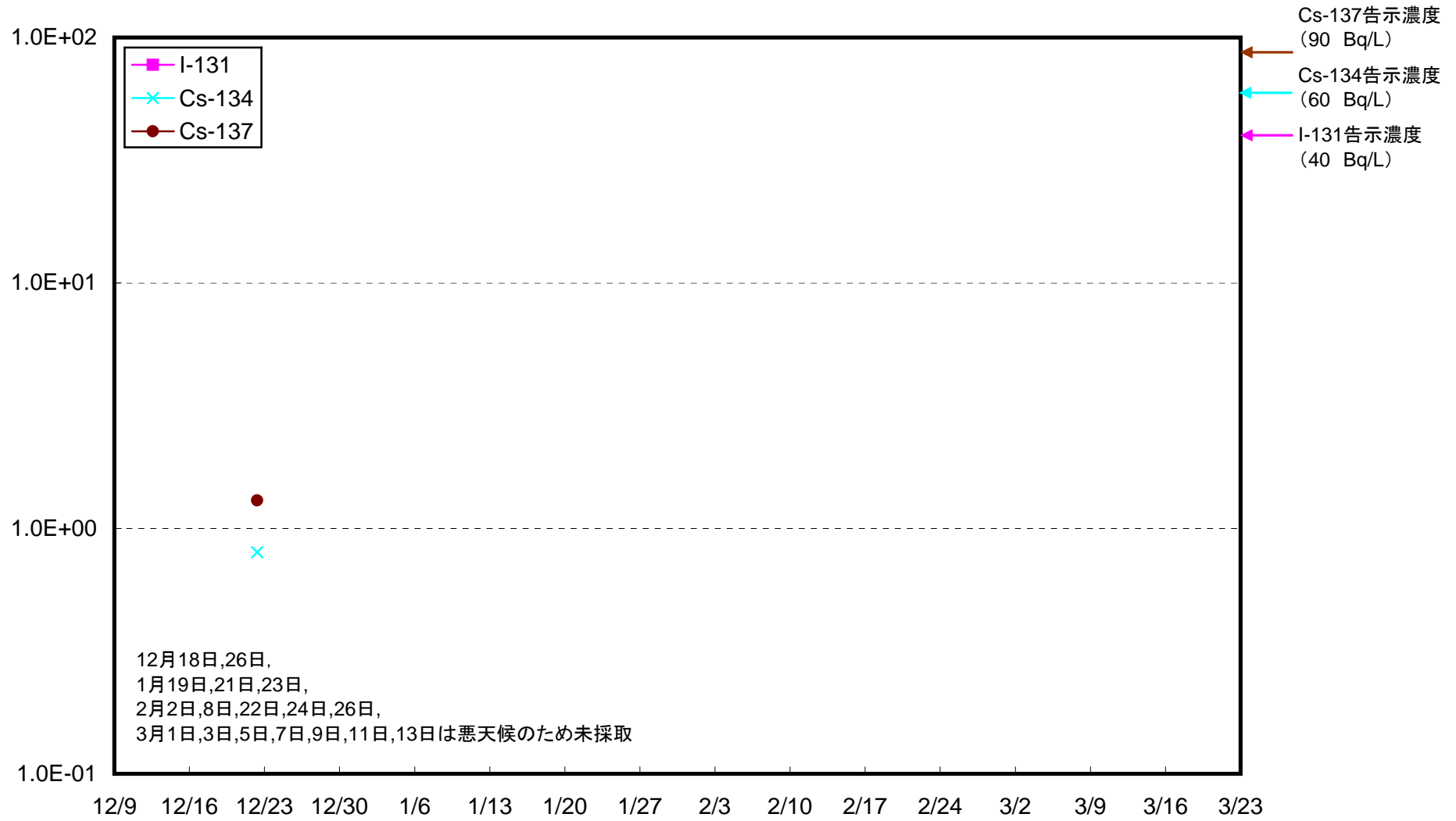
小高区沖合3km 上層 海水放射能濃度 (Bq/L)



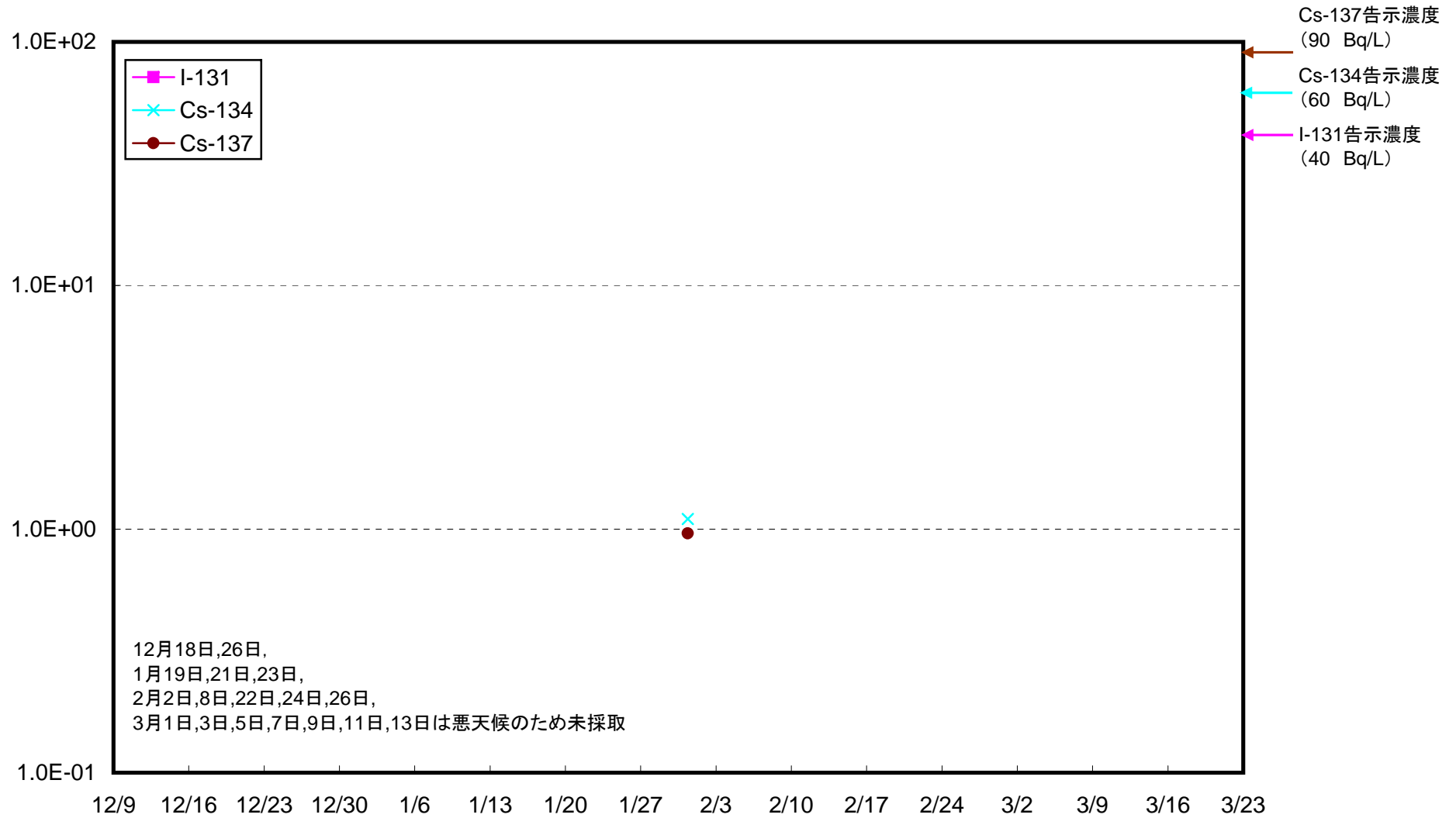
小高区沖合3km 下層 海水放射能濃度 (Bq/L)



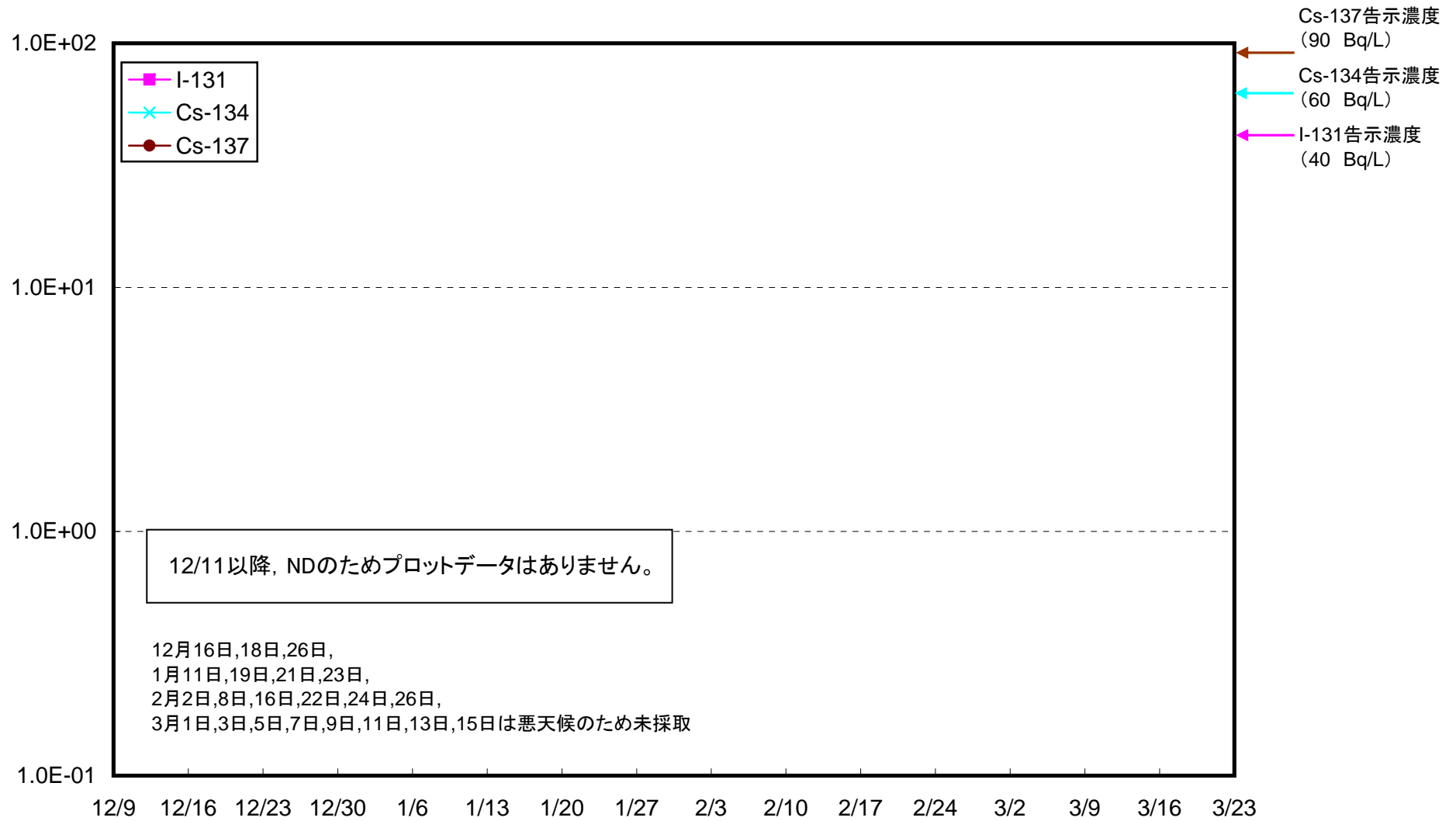
岩沢海岸沖合3km 上層 海水放射能濃度 (Bq/L)



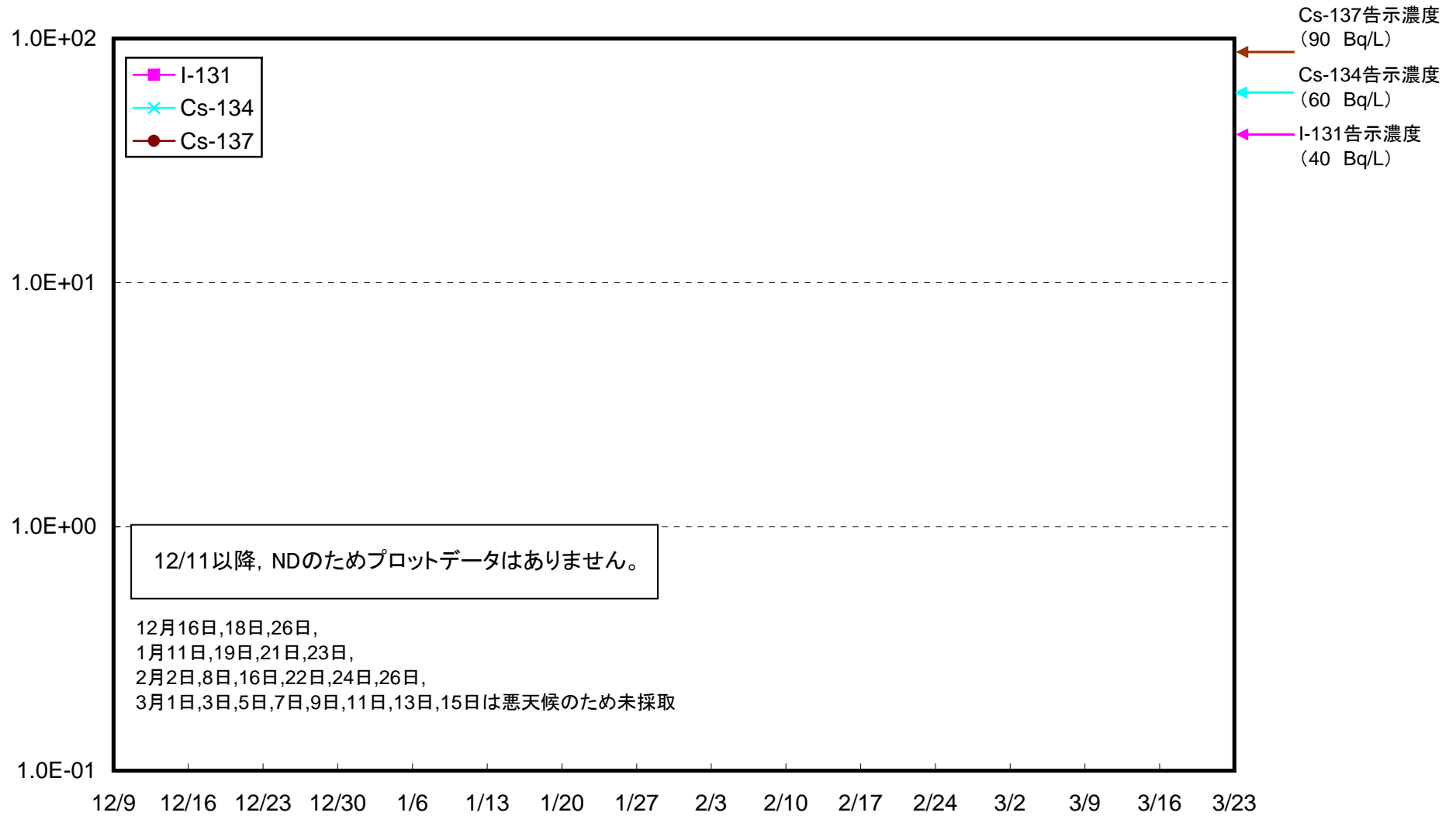
岩沢海岸沖合3km 下層 海水放射能濃度 (Bq/L)



小高区沖合8km 上層 海水放射能濃度(Bq/L)

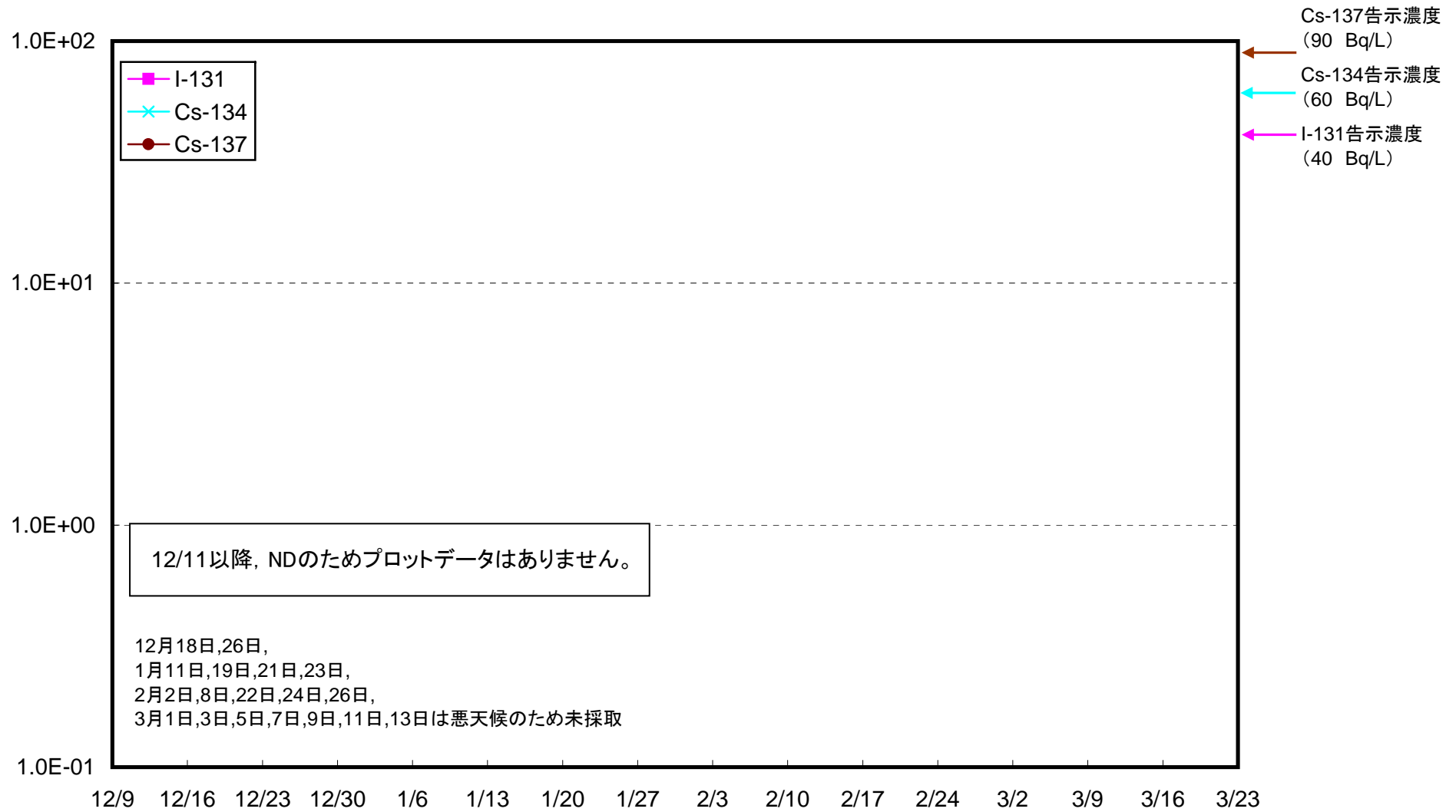


小高区沖合8km 下層 海水放射能濃度(Bq/L)





岩沢海岸沖合8km 上層 海水放射能濃度 (Bq/L)



岩沢海岸沖合8km 下層 海水放射能濃度 (Bq/L)

